

とまこまい 市議会だより

TOMAKOMAI CITY
COUNCIL NEWS

第26号

令和元年8月1日発行

■ 編集・発行・お問い合わせ先：苫小牧市議会とまこまい市議会だより編集委員会
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

第1回 臨時会を開催いたしました。
(令和元年5月20日(月)～22日(水))

第2回 定例会を開催いたしました。
(令和元年6月20日(木)～28日(金))

第19期 苫小牧市議会議員 全員集合！ よろしくおねがいたします。



Contents

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------|-------------------------|-----------|
| ■ 第1回 臨時会／正副議長・監査委員決定 | P 2 | ■ 常任委員会 | P14 |
| ■ 議員紹介 | P 3 | ■ 特別委員会 | P15 |
| ■ 第19回 定例会 | P10 | ■ ピックアップ | |
| ■ 苫小牧市議会基本条例を制定 | P11 | 情報発信中！市議会ホームページ・フェイスブック | ... P16 |
| ■ 第2回 定例会 | P12 | 議会を傍聴しませんか | P16 |
| ■ 苫小牧UIターン新規就業支援事業／みその・しみず保育園建替事業 | ... P13 | ■ 議会日程のお知らせ | P16 |

議員紹介

※（ ）内は当選回数

★改選後、初の議会において、沢山の議員が質問に挑戦し、熱き熱戦が展開されました。頼もしい限りです。私も公約として掲げたひとつ「**小中学校の給食の無償化**」を質問。国を含め、予算の関係から、「まずは、第3子のお子さんを対象に」20年度を目指して、検討するとの前向きな答弁がありました。実現を待ちます。

★さらには、高齢化社会の中で、勇払地区のご高齢の方より「高齢のため、お風呂掃除が大変で、コミセンにあるお風呂を開放してもらえないか」とのご相談。早速質問し、「7月にアンケートを実施し、ニーズを把握し、秋ごろ遅くとも11月位には、スタートできれば」との嬉しい答弁でした。

★ほかに、満杯に近い、青翔中学校のオーバーフロー時の対応や、防災タワーと防災行政無線の設置・拡大を質問しました。



池田 謙次
公明党議員団 (6)



板谷 良久
新 緑 (3)



岩田 薫
民主クラブ (2)



宇多 春美
新 緑 (3)

★4月の市議会議員選挙では「**IRが開く、苫小牧の明るい未来**」について訴えてきました。今回、北海道知事の動向や、**IR整備法の遅れ**などの影響について質問しましたが、IR誘致を進めている大阪・長崎・和歌山と比較すると、遅れている状況が明らかとなり、北海道との早期連携と市民周知の強化を要望しました。また、誘致に向けてしっかりと取り組む市長の考えが示されました。

★高齢者による交通事故が、全国的に多発していることから、運転免許返納を誘因する取り組みとして、**高齢者優待乗車証の自己負担額100円を無料化する提案**をしました。また、バス利用者の25%が高齢者であることから、21年度から実施予定の「地域公共交通網形成計画」における福祉との連携を提案し、市は研究・調査を始めることを明らかにしました。

★6月定例会の一般質問では、①JR北海道単独維持困難路線②市発注工事③市民ホールの整備手法④緑ヶ丘公園の全体計画⑤下水道施設の整備計画などについて、市の考え方を質問しました。

★JR問題では、19年度から2カ年にわたり、利用促進のため支援をおこなうとして、具体的金額については9月議会に提案するつもりです。

★市が発注する工事では、胆振東部地震や、全国的な人手不足などから、発注計画の見直しや、工期の延長など対策を講じていくつもりです。

★市民ホールの整備手法の決定については、19年中に決定するとの答弁がありました。

★下水道事業における経営戦略は、中長期的なバランスの取れた財政運営を目的として、19年中に策定するつもりです。

★3期目も、女性の視点で市民の皆さんの声に耳を傾け、誰もが幸せに暮らせる「まちづくり」を目指す活動をいたします。

★男女平等参画を推進する市民会議は、市長が座長となり、市民・団体、企業、行政が情報交換や相互連携をし、積極的に推進することを目指し、協働のまちづくりを目的としています。市職員に対しては職務の中での認識、市民に対しては丁寧な周知を求めました。

★認知症対策は、大人も子どももサポーターとして地域で認知症の方を見守る活動、認知症カフェ、さらに市内東西2カ所では「認知症フレンドリーカレッジ」が開催され定員を超える状況に認知症の理解が深いものと思います。今後は新オレンジプランで施策強化とされている若年性認知症に対しての現状把握と支援に対しても取り組むことを質疑しました。

第1回 臨時会（令和元年5月20日～22日） 議長に金澤 俊議員、副議長に藤田 広美議員、 監査委員に小山 征三議員が決まる。

■ 常任委員会

	総務委員会	厚生委員会	文教経済委員会	建設委員会
委員長	越川 慶一	宇多 春美	大西 厚子	谷川 芳一
副委員長	佐々木修司	桜井 忠	山谷 芳則	富岡 隆
委員	喜多 新二 木村 司 藤田 広美 小山 征三 触沢 高秀	金澤 俊 神山哲太郎 松尾 省勝 牧田 俊之 原 啓司	矢嶋 翼 大野 正和 橋本 智子 首藤 孝治 小野寺幸恵	板谷 良久 竹田 秀泰 池田 謙次 岩田 薫 松井 雅宏

5月20日から22日にかけて開催された第1回臨時会は、本年4月21日の統一地方選挙後初めての議会であり、議会人事を中心に、一般会計と介護会計における増額補正や苫小牧市税条例等の一部改正についてなど審議をおこないました。

■ 特別委員会

	総合開発特別委員会	安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会
委員長	竹田 秀泰	松尾 省勝
副委員長	首藤 孝治	喜多 新二
委員	板谷 良久 木村 司 山谷 芳則 池田 謙次 大野 正和 小山 征三 佐々木修司 牧田 俊之 小野寺幸恵 原 啓司 谷川 芳一	宇多 春美 矢嶋 翼 大西 厚子 神山哲太郎 岩田 薫 橋本 智子 越川 慶一 松井 雅宏 富岡 隆 桜井 忠 触沢 高秀

議会運営委員会	
委員長	板谷 良久
副委員長	神山哲太郎
委員	竹田 秀泰 池田 謙次 岩田 薫 越川 慶一 小野寺幸恵 桜井 忠



苫小牧港管理組合議会議員	
副議長	牧田 俊之
議員	木村 司 池田 謙次 岩田 薫 富岡 隆

都市計画審議会委員	
委員	木村 司 佐々木修司 越川 慶一 谷川 芳一

議長就任の 「いあいっし」

市議会議長
金澤 俊

私たちは、4月21日執行の統一地方選挙で市民のみならずから負託を受けました。その託されたさまざまな思いや願いをひとつでも多く、少しでも早く実現するために、それぞれの議員が日々の議員活動や各定例会、特別委員会などの議会活動に精力的に取り組み、最大限議会の機能を発揮できるように努力してまいります。

また、今年度から施行されました議会基本条例の趣旨である、市民に開かれた議会を目指して、市民のみなさんへの情報発信のあり方をはじめとするさまざまな議会改革についても積極的かつスピード感を持って取り組んでまいります。これからもどうぞよろしくお願いたします。

議員紹介



大西 厚子
公明党議員団 (2)

★一般質問で病児・病後児保育について質問。市に在園児を対象とした体調不良児対応型の事業しかない現状をふまえ、在園児に限らず、他の幼児・児童も受け入れる病児対応型と病後児対応型の早期設置を求めました。令和2年度からの第2期「子ども・子育て支援計画」で示すと答弁がありました。

★**低出生体重児に対応できる母子健康手帳**については、母子手帳と一体的に活用できる別冊作成を求め、本市のはぐねつとを編集し一体的に使える別冊の作成を検討すると答弁がありました。

★まご育てのガイドブック「まごナビ!」の継続を求め、配布を検討すると答弁がありました。

★ほかに、市の動物の愛護と管理に関する条例策定の提案、スクーリングの効果的な安全対策として、時間設定による車両通行規制について質問しました。



神山哲太郎
公明党議員団 (4)

★**一般質問等(抜粋)**

★**次世代自動車・住宅用蓄電池システムの活用と拡大**について 省エネや災害などの停電時対策として電気自動車に蓄えた電気を家で使うシステムへの購入補助を提案し検討する答弁がありました。

★**学校開放事業**について スポーツ開放時、体育館などにAEDが備えられる状況となりました。

★**投票率の向上対策**について 投票日当日も駅やショッピングセンターなどで投票できるように要望。また、選挙に関心を持ってもらうためインターネットによる模擬投票をおこなうことを提案し関係機関と協議する答弁がありました。

★**苫小牧市乳幼児等医療費助成条例の一部改正**について 入院補助をこれまでの12歳から15歳まで拡大されるが通院についても拡大を求めましたが財源の確保が課題との答弁でした。



大野 正和
公明党議員団 (1)

★市民の皆様の負託を受けまして、議員として働かせていただくこととなりました。「市民の皆様小さな声を、私自身の大きな声に変えて、市政にお届けしてまいります。」との約束を一時たりとも忘れず、新人らしく元気いっぱい、身を粉にして、市民のために働きます。よろしくお願いいたします。

★**【一般質問】公園の維持管理費用**を質問。4億9千万円かかっていることをふまえ統廃合などの費用削減をした上で自転車乗り入れ可能な「交通公園」の設置を提案。防犯カメラを今後5カ年計画のうち、公園・通学路から優先的に設置するよう提案。いじめなど、子ども相談をSNSにも拡充するよう提案。全ての質問において前向きな答弁がありました。

★**【議案審議】「常任委員会」特別委員会**も全てに質問し市民の皆様の声をお届けしました。



喜多 新二
新 緑 (1)

★この度の選挙にて「子供達の未来を創る」をテーマに戦い、市民の皆様市政へ送っていただきました。人口減少と高齢化が進むなか、これから20年先を見据えて舵を取らなければならない岐路に立っています。まずは地元経済の縮小を防ぐため中小企業を守ること、そして、若い人達が子育てのしやすい都市を目指すための子育て支援を充実させることが重要と考えています。

★子育て世代が集まる都市づくりにより、働き盛りのお父さんお母さんが集うまちこそ産業を支え、高齢者の医療や介護等福祉を支える人材の獲得に繋がります。そのために、**子育て費用の少ない街、いじめ問題や不登校などに対応した子育て環境の構築**にも取り組んでいきます。初心を忘れずに、身近な課題からコツコツと良い未来を積み上げていきたいと思えます。



小野寺幸恵
日本共産党市議団 (5)

★苫小牧市は、人口が減っていても**税金が増え**ており、地元で頑張るみなさんのおかげだと思っております。

★市長は、20年先も食べていける**苫小牧にするためにカジノを含むIRにチャレンジ**したいといっています。私は、地元の中小企業のみなさんやそこで働くみなさんを応援することで、元気なまちにしたいと思っています。そのためにも、振興策に力を入れること、**中小企業振興計画**を発展させることだと考えています。

★地元で汗水流して納めてくれた**大事な税金で、子育て支援や高齢者施策**に取り組み、安心して暮らせる苫小牧にしたいと思っています。

★私のモットーは市民のみなさんの声を聞き、その声を届けて市政に生かすことです。任期4年間、その役割を果たせるよう、全力で頑張ります。



木村 司
新 緑 (4)

★**総務常任委員会**において、CAP(苫小牧まちなか再生総合プロジェクト)について、この施策の主旨・目的・意義、人口減少・超高齢化社会に向けた「持続可能な苫小牧づくり」のための施策であると再確認し、全庁的・全庁的取り組みの重要性を指摘しました。また、位置付け、市の各施策・計画と連動すること、それを各部署に周知するべきと要望しました。

★**都市計画マスタープラン**については、CAPの考え方を盛り込んで、苫小牧の顔となる都市、魅力的な中心部の形成の文言が入り、中心部の再開発の重要性が示されていることを評価しました。今後は、市街地地域の縮小を目指すとの考え方の大変換を確認し、将来の開発計画が出た時においても、総量を増やさなくらいの覚悟が必要ではないかと指摘しました。



金澤 俊
新 緑 (4)

★**厚生常任委員会**にて市がおこなっている**歯周病検診**について質問と提案をしました。

予防疫療、健康増進の一環として取り組まれているこの事業は、平成28年度から開始し、受診者数と受診率は着々と数字を伸ばしてきています。

これに伴い、歯槽膿漏など歯周病の予防につながるものと思っています。

しかし、一部専門家からは、現行の「10年に一度」の受診機会から「**毎年の検診**」にすることで、より予防効果が高くなるとの意見もいただいています。

★市側との議論の中では、受診機会を増やすことにより予防の効果も見込まれる一方で、経費の増加が見込まれることから、費用対効果を含めた財政協議をおこなった上で受診機会を増やす検討が必要であることが明らかとなりました。



越川 慶一
改革フォーラム (3)

★**【IR】**もつと市民へ正確な情報を伝えるべきと指摘し「IR整備法のプロセスとして、具体的な施設、規模などが最終段階でなければ明らかにならず分かりづらい理由のひとつ、今後パンフレットを作成し市民理解が深まるよう検討する」との答弁がありました。

★**【プログラミング教育】**20年度から必修化となる小学校のプログラミング教育について質問し「手順を踏むと物事が解決できるというプログラミング的思考の育成を目的に、タブレット型端末を小学校全校に導入し20年度から実施する」との答弁がありました。

★**【グラウンド砂ぼこり対策】**ウトナイ中学校グラウンドの砂が強風時に近隣住宅へ飛散し迷惑していることを指摘し「今後の対策として、防砂ネット及び水まきができる散水栓を9月頃までに設置する」との答弁を引き出しました。

議員紹介



小山 征三
民主クラブ(3)

★市監査委員に就任

少子高齢化、人口減少社会における行財政は、本市も非常に厳しい状況にあります。効率的で効果的な財政運営ができますよう公正不偏の立場で、監査を務めます。

★総合開発特別委員会での質疑

経済産業省は、令和2年度から新設のメガソーラーに対して固定価格買取制度(FIT)を適用しない方向で法改正を検討しています。市内の設置状況と今後の影響について見解を求めました。

市側は、令和元年5月現在でメガソーラーが25カ所に設置され、このうち8カ所が苫東地区にあることを示しました。岩倉市長は、FIT制度の見直しについて「非常に重要な問題である。エネルギーの需給バランスや供給事業者はどうなるか、動向を注視したい。国はしっかりとした方向性を示してほしい」とのべました。



桜井 忠
会派市民(5)

★一般質問

1 改元

(1)国旗の掲揚について

(2)改元対策について

2 少子化対策

(1)不妊症治療費の助成について

(2)紙おむつ、粉ミルクの支援

3 統合医療の考え方について

4 遺族支援コーナー設置について

5 障害者差別解消条例について

6 パワハラ防止法について

7 避難勧告に関するガイドラインの運用について

8 紙のまち

(1)王子製紙苫小牧工場について

(2)日本製紙勇払工場について

(3)紙のまちとしての取り組み

★厚生委員会

1 高濃度PCB点検に関する質疑

2 旧トマモール石綿に関する質疑

★意見書

アメリカ力の核実験に抗議する決議を提案し、文章を起草しました。



佐々木修司
民主クラブ(2)

★6月定例会で一般質問をおこな

い①胆振東部地震の対応検証と対策②幼児教育・保育の無償化③待機児童解消の取り組み④放課後児童クラブ⑤交通安全対策について市の考え方を質問しました。

★令和元年10月からの幼保無償化に伴い、保育所の保育料に含まれている給食費が3歳以上は新たに実費負担となりますが、本市では少子化対策として第3子以降の保育料の無償化をおこなっており、その趣旨をふまえた第3子以降の給食費の無償化について市の考え方を質問しました。市側は「国から実質負担となる利用者に一定の配慮が求められており、現在保育料が無償となっている利用者の負担増はこれに該当すると考えている。市の財政負担や他制度との整合性などの課題精査にあたって、このことを考慮したうえで作業を進めたい」との考えを示しました。



首藤 孝治
改革フォーラム(2)

★「人口減少対策について」

人口減少に歯止めを掛けることが出来るよう国や他の自治体と右へ倣えではなく、市独自として起爆剤となるような政策の必要性を強調し、提案として子育て支援への拡充「現状の児童手当十補完」「小中学校給食費の一部助成」などについて質疑しました。これらの政策を実現するには多額の財源が必要であるが人口減11税収減の観点からも必要な事業と今必要ではない事業を精査し、今必要な事業に費用を増やすことを要望。

★今必要ではないと考える事業として現在モデル地区を選定し試行中の「家庭ごみ戸別収集」について質疑し、市民サービスとして素晴らしい事業ではあるが、市内全戸に広げた場合は約3億5千万円の事業費が膨らむことを指摘し、今一番必要な政策は未来への投資であることを強く求めました。



竹田 秀泰
新 緑(3)

★議員活動も9年目となります。

一級建築士の観点から今後公共施設の建設・改修等に積極的に関わっていきたくと考えています。

★特にこれからの公共工事は、民間資金・民間活力の導入が必要と考えています。今議会でも、第2

学校給食共同調理場改築事業につ

いて質問をおこない、令和2年度3学期供給に向け、元年度9月頃にプロポーザル(提案型公募)をおこない設計業務・本体建築・外構工事を一括で事業者を選定する予定で、給食開始時には、アレルギー対応食と和え物食も同時に提供するとの答弁がありました。

★また、市民ホールについて民間活力導入の考え方、今後の予定、東小学校ビオトープ活用方法、また緑ヶ丘運動公園の駐車場増設やサッカー場観覧席新設・旧サイクリングターミナル活用(プロポーザル)について質問しました。



谷川 芳一
会派市民(9)

★おとうさん、おかあさんをた

せつに。

この度の苫小牧市議会議員選挙におきまして、9度目の当選をさせていただき、市民の皆様の厚いご支援を心より感謝申し上げます。今後は「私の強い思い」の約束実現に向けてまいしんしてまいりますので、引き続きご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

★私の強い思い

- 1. 1R誘致賛成、カジノ反対
- 2. 不妊症対策強化充実
- 3. 確実な少子化・高齢化対策
- 4. 駅前再開発の実現
- 5. 市議会議員の定数削減
- 6. 市職員の定数削減
- 7. 自然災害に強いまちづくり

★市民の皆様よりの、相談・情報などがございましたら、ご連絡をお待ちしております。



富岡 隆
日本共産党市議団(6)

★市民の命を守る防災対策はま

たなしの重要課題です。福島原発の被災地を何度も訪問してきた議員として、市長の泊原発再稼働ありきの姿勢をこれからも強くただし、苫小牧市民の安全、安心のまちづくりに対し提案もおこない災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。

★苫小牧市の人口減少対策の一

番の要は子育て支援と考えます。特に乳幼児等医療費助成制度の拡大に全力をあげます。さらに保育所の待機児童対策、放課後児童クラブの改善に力を尽くすと同時に、保育士や専門職員の給料の引き上げを道や国に強く求め、子どもたちがのびのび育っていきける環境整備を進めます。子どもの未来にカジノを含む1Rは必要ありません。

★これからも市民の声を議会に届け、市民の命と暮らしを守る市政に全力で頑張ります。



橋本 智子
民主クラブ(1)

★苫小牧市議会で「命」と「暮らし」を守りたいと決意し、初当選

させていただきました。

★6月定例会の一般質問では核兵器禁止条約とカジノを含む統合型リゾート(1R)について岩倉市長の政治姿勢を質問しました。

★また、世界的な問題となってい

るプラスチックの発生抑制と処理については、今後レジ袋の有料化が法制化された場合の対応について市側の見解を質問しました。

★食品ロスの取り組みについてはフードバンクなどの取り組みをさらに推進するよう要望しました。

★安平川下流域の河内調整地の有効活用や苫小牧東小学校のビオトープの市民ホールでの活用を求めました。

★さらに通学路の安全について交通、犯罪、災害などの観点からの取り組み状況を質問し、その実効性を求めました。

議員紹介



原 啓司
日本共産党市議団 (2)

★苦小牧市も地域の高齢化が年々進んでおり、高齢者の皆さんが安心して今後も住み続けられるまちづくりは、待ったなしの課題と考えています。町内からスーパールの撤退がある中で、買い物環境をどのように確保するのか、バス路線をはじめとした交通手段の確保の課題も深刻です。いずれの課題も地域の皆さんの声をしっかりと聞いて、具体的提案につなげていきます。

★また、本市は、森と海と湖といった大変豊かな自然環境に恵まれ、貴重な動植物が多く生息する環境もあります。これらをいかした地元産業の発展こそ進むべき道ではないかと考えます。
★人口減少対策は、IR誘致に頼るのではなく、医療、福祉の充実、子育て世代を応援する施策の充実に求めるべきと考えます。任期4年間、全力投球で頑張ります。



藤田 広美
公明党議員団 (4)

★副議長就任後、初の定例会に臨み、一般質問の3日目に議長に代わり議事の進行を務め、緊張感のなか取り組ませていただきました。
★総務委員会では苦小牧駒澤大学で外国人留学生別科として日本語教育の実施を質問。中国の高校卒業後の学生が主な対象で、日本語や生活習慣を学ぶ課程として初年度は20人から30人を想定している

と答弁。さまざまな相談ができる学生のサポート体制を求めました。
★駅前周辺再整備事業で、駅南口から東方向の苦小牧停車場若草道線の利便性から一方通行の規制解消が必要と質問。地元町内会で協議後、規制解消の要望があれば北海道公安委員会に上申すると答弁。
★まちなか居住では歩いて買い物ができるまちづくりが必要として商業施設の誘致を目指す助成制度など検討して、より住みやすい環境整備を提案しました。



触沢 高秀
無所属 (1)

★私は、本年4月におこなわれた苦小牧市議会議員選挙において、NHKから国民を守る党の公認候補として立候補し、初当選をしました。

選挙の時の公約はたった一つ、「悪質なNHK訪問員から苦小牧市民をお守りいたします」です。
★この公約しか掲げていなかった私に多くの市民の皆様の投票によって当選させていただきました。これは、日頃いかにNHKの訪問員が苦小牧市民の皆様に対して悪質な訪問を繰り返しておこなっている、それを証明していると言えるのではないのでしょうか。
★NHK受信料に関して疑問やお困り事などありましたら、お気軽にご連絡をいただきたいと思います。市議として市民の皆様のお役に立てるように誠心誠意全力を尽くします。



牧田 俊之
改革フォーラム (2)

★「プラスチックごみ」海洋汚染の問題となっている「プラスチックごみ」について取り上げました。市では容器包装プラスチックとその他プラ（製品プラ）を分けずに「プラスチックごみ」として収集していること、海洋汚染の原因となっているポイ捨ての防止対策や現状把握について質問。「プラスチックごみ」については市民の分別の容易さ・不適正排出防止の観点で判断していると答弁があり、「ポイ捨て」について監視カメラは効果的だが費用面がネック、当面はパトロールと看板等で意識啓発していくと答弁がありました。

★「広報とまこまい」昨年の12月に示された全戸民間配布に対して、町内会連合会から配布業務に関する要望書が提出されたことを受けて市の考え方や検討の目的について質問し、9月までに判断すると答弁がありました。



松井 雅宏
改革フォーラム (5)

★(SDGs)持続可能な開発目標) 国や道も意欲的な国際目標への取り組みの必要性を質問。市の総合計画を始めとする各種計画にSDGsの2030年までの17のゴールを関連付けるとともに、市民向けのセミナーの開催、市独自の推進ビジョンの策定を提案し、前向きに取り組むむねの答弁がありました。

★【下請け工事の地元受注率】市発注工事における下請け工事の地元受注率の現況の資料を配布し、一次下請け80%台後半、二次下請け30%台、三次下請け10%前後、4次下請け1桁台となっている現況に対する市の見解をただし、真に地元経済を支えさせるため、現況分析をおこない、下請けの地元受注率を上げるため新たな方策を講ずるべきと求め、「しっかりと原因を分析した上で対応を検討したい」との答弁を引き出しました。



松尾 省勝
民主クラブ (3)

★市民の皆さまより多くの負託をたまわり、3期目のスタートを切ることが出来たことに心からの感謝を申し上げます。
なお、会派の代表として、考えを共にする仲間と共にまちの未来を見据えながら、精進を重ねてまいります。

★さて、人口減少時代を迎えた苦小牧市において、難局を乗り越えていくための課題は山積しており、議会に求められるニーズは多岐に渡ることから、幅広い議論を進めながら、未来へむけての準備を加速させなくてはなりません。
★私は、市民生活の基盤となる公共交通の活性化や高齢化が進むまちの介護環境の充実に向けて、これまでにも議論を深めてきました。が、発展途上の域であり、今後大きなくりの中、もっと前進できるまちの未来に向け、問題を提起してまいります。



矢嶋 翼
新緑 (7)

★市内高校への理数科・英語科の設置を提案しました。理数科は、日胆地区に室蘭栄高校のみで、この10年間で医学部現役合格者は33名。苦小牧東高も医進指定校として、理科・数学・英語に特化した少人数授業をおこなっています。現役合格者は1名でその差は歴然です。苦小牧にも理数科を設けるよう求め、英語も令和2年度から小学5・6年生で正規の教科となることから、その連続性が必要で

高校の英語科設置を求めました。これに対し、魅力ある高校の観点からも道教委へ地域の声を届け、意見交換すると答弁がありました。
★英語の発音指導のため、外国人指導助手が小学校24校に対して6名しか配置されておらず、増員を求めました。これに対し英語の充実は急務であり、指導助手の役割は重要で、増員に向けて考えると答弁がありました。



山谷 芳則
新緑 (1)

★私は「子育て世代のリーダー的存在」となり、子どもや子育て家庭の方々が安全安心な暮らしができるよう、若さとフィットワークの軽さを武器に仕事をしてまいります。

★大学卒業後、学習塾講師として教育産業に関わり、子どもたちの学力格差を目の当たりにしてきました。地域を担う子どもたちに適正な教育をおこなうことは、私たち市民全体の課題です。学力の向上により、子どもたちは進学や就職において幅広く選択肢を有することができるようです。
★今定例会では①学力調査の結果と成果・課題について②小中学校の連携について③小中学校のホームページについて④ゾーン30※の取り組みについて質問させていただきました。今後も、市民の皆さまのために頑張ります。よろしくお願いたします。

※地域住民・児童など歩行者の安全性向上のため、生活道路に区域を定め、区域内を時速30キロの速度規制を実施して速度抑制を図る生活道路の安全対策です。

- 常任・特別委員会で活発議論！各委員会における審査案件は次のとおりです。**
- ▼総務委員会
 ①財政基盤安定化計画セカンドステージ
 ②苫小牧市地域情報化計画の計画期間延長
 ③苫小牧市駅前イルミネーション事業実施結果
- ▼厚生委員会
 ①苫小牧市空家等対策計画
 ②戸別収集試行の検証結果
 ③糸井清掃センターの廃炉
 ④市有施設における高濃度PCB（ポリ塩化ビフェニル）使用安定器の点検状況
 ⑤旧トマモール石綿除去
 ⑥苫小牧市子ども家庭総合支援拠点の整備
 ⑦苫小牧市児童センターの運営
- ▼文教経済委員会
 ①苫小牧市公設地方卸売市場経営展望（素案）
 ②苫小牧市教育大綱
 ③苫小牧市図書館運営方針
 ④第四次苫小牧市子どもの読書活
- ▼建設委員会
 ①苫小牧市新水道ビジョン実施計画
 ②公共施設樹木適正化事業
 ③苫小牧市住生活基本計画（案）
- ▼総合開発特別委員会
 ①米軍再編に伴う米軍機訓練移転
 ②苫小牧におけるCCS大規模実証試験CO₂圧入期間延長に向けた海洋汚染防止法に基づく変更許可申請
 ③平成31年度苫小牧港港灣整備事業予算及び平成30年苫小牧港の港勢
 ④総合開発特別委員会調査結果報告
- ▼安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会
 ①（仮称）苫小牧市民ホールの整備手法検討と進め方
 ②北海道胆振東部地震に係る課題検証
 ③地震動と耐震基準
 ④安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会調査結果報告

第19回 定例会（平成31年2月22日～3月15日）

新年度予算総額 1,341億円を可決！



本会議初日におこなわれた第4回議場コンサートでは、苫小牧アイヌ文化保存会による伝統の竹製楽器ムックリの演奏をはじめ、歌や舞などが披露され、会場からは大きな拍手が鳴り響きました。

第19回市議会定例会は、2月22日から3月15日まで開かれ、報告6件、議案34件などの審議がおこなわれ、「平成31年度各会計予算案」が可決しました。

市民に開かれた議会を目指すため、平成28年から約2年間にわたり、議会改革検討会などで議論を重ねた「苫小牧市議会基本条例」が可決しました。

基本政策となる市民によるまちづくりの推進、健全な行財政運営の推進など、まちづくりの目標に沿って、主要施策を掲げた市長の市政方針及び教育長の教育行政執行方針に対し、7会派の議員が代表質問で、1R（カジノを含む統合型リゾート）、防災体制の充実、公設地方卸売市場、まちなかの活性化、（仮称）市民ホールなどについて議論がおこなわれました。

主な事業と予算をお知らせします！



・日新団地建て替えに係る工事など（10億2,776万円）



・防災行政無線のデジタル化に向けて設計を実施(1,719万円)



・市民参加の健康づくりイベントなどを実施（500万円）



・タブレット機器などのICT環境の整備（5,653万円）



・緑小学校の校舎・屋内運動場の改修工事など（15億3,776万円）



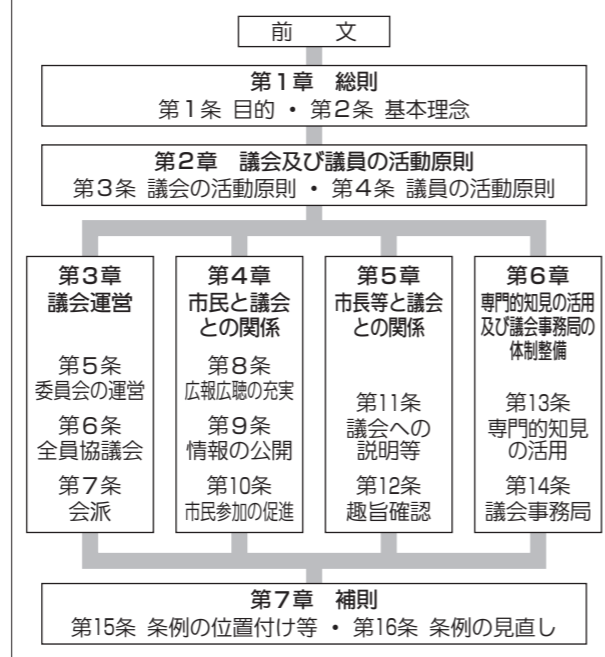
・緑ヶ丘公園サッカー場の照明設備の設置など（9,050万円）

苫小牧市議会基本条例を制定！～開かれた議会を目指して～

近年、地方分権の進展に伴い、地方公共団体の自己決定及び自己責任の範囲は拡大しており、議会が市政に果たす役割は、ますます重要になってきています。このため、合議制の議事機関である議会は、独任制執行機関である市長との健全な緊張関係を保持しながら監視機能、調査機能、政策形成機能などを最大限に発揮するとともに、開かれた議会とするために市民の声を常に聴き、市政に反映できるよう機能強化に努めなければなりません。

また、議会を構成する議員は、政治倫理を遵守し、誠実かつ公正に活動しなければなりません。そこで、苫小牧市議会では、平成28年から約2年間にわたり、議会改革検討会や代表者会議で議論を重ね、より一層市民に開かれた議会を目指すことにより、市民の福祉の向上及び市政の発展に寄与するため「苫小牧市議会基本条例」を平成31年4月1日に施行しました。

■ 議会基本条例の構成 ■



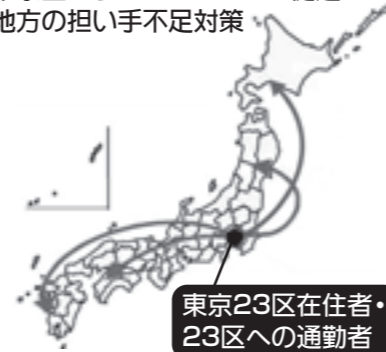
▶ 苫小牧UIJターン新規就業支援事業

目的	人口減少と少子高齢化に伴う、人手不足に直面している地域の中小企業等の人材確保及び東京圏※1から本市へのUIJターンによる就業・起業の促進を図り、活気ある地域づくり・地域経済を維持する。
金額	◆中小企業等※2に就職した場合 最大100万円 (国 50万円 北海道 25万円 市 25万円) ◆起業した場合 最大300万円 (上記の100万円に加え、国から100万円 北海道100万円を補助)
支援対象者	以下の①から③の全ての要件を満たす者 ① 23区在住者又は23区への通勤者※3 ② 東京圏以外の道府県に移住した者 ③ 移住地で中小企業等※2に就業又は起業した者
事業主体	地方公共団体
支援内容	移住に要する費用など

※1 東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県。
※2 北海道が開設するマッチングサイト(求人情報サイト)に掲載し、支援の対象とした中小企業。
※3 東京圏在住の23区への通勤者のうち、条件不利地域在住者を除く。

事業費 500万円

東京圏からのUIJターンの促進
地方の担い手不足対策

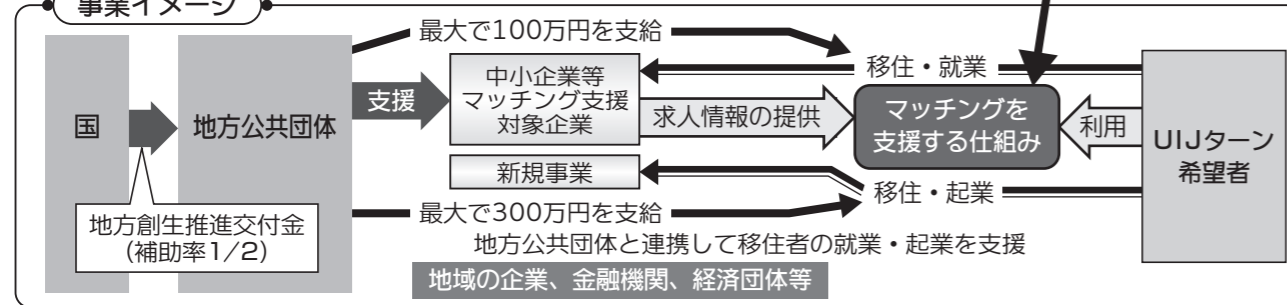


東京23区在住者・
23区への通勤者

マッチングを支援する仕組み

- ◆都道府県は求人情報サイトの開設・改修等を実施
- ◆国は民間と都道府県等の連携による全国的な情報提供の枠組みを構築

事業イメージ



▶ みその・しみず保育園建替事業

■ 付近見取図



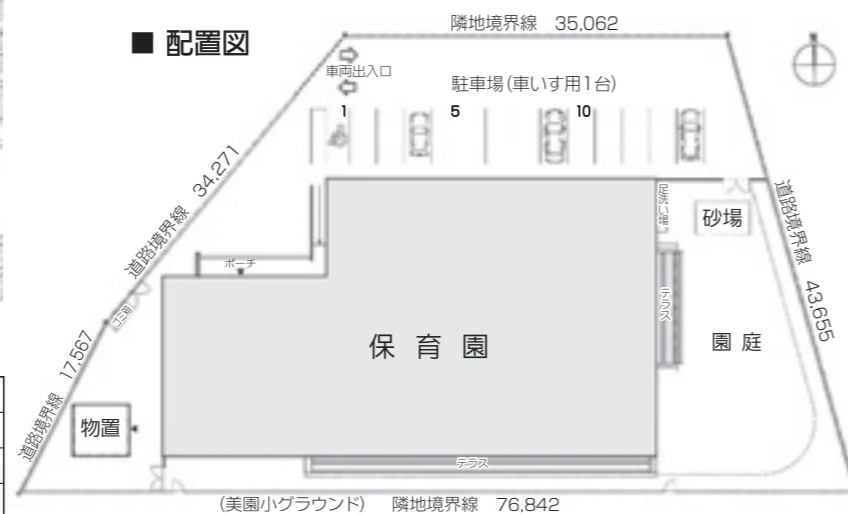
■ 建物概要

計画地	苫小牧市美園町4丁目26番地7
敷地面積	2,417.53㎡
構造	木造平屋建て
延床面積	999.85㎡

■ 事業費

令和元年度 9,784万8千円
令和2年度 3億2,296万8千円
計 4億2,081万6千円

■ 配置図



第2回 定例会 (令和元年6月20日～28日)

苫小牧市乳幼児等医療費助成条例、 臨界前核実験に抗議する決議などを可決!

第2回定例会は6月20日から28日までの9日間の会期で報告6件、議案26件、諮問1件などの審議がおこなわれました。

冒頭、職員の不祥事による行政報告をおこない、市長、副市長及び教育長の7月支給の給与額の1割減額が示されました。

その後おこなわれた一般質問では、22名の議員からIR(カジノ)を含む統合型リゾート、交通行政、教育行政、市民行政などについて活発に質問や意見・要望が提案されました。

改選後初めての定例会であり、新人議員5名も一般質問に登壇し、緊張しながらも市民の皆さまの意見・要望を市政に届けるために臨みました。

会期の後半には、各常任委員会・特別委員会が開催されました。

※各委員会の内容につきましては、常任委員会・特別委員会報告の14・15ページをご覧ください。



条例制定など

- 制定
 - 「苫小牧市森林環境譲与税基金条例」
 - 「苫小牧東小学校校舎改築主体工事」
 - 「苫小牧東小学校屋内運動場改築主体工事」
 - 「苫小牧東小学校・苫小牧東中学校校舎改築暖房設備ほか工事」
- 一部改正
 - 「苫小牧市乳幼児等医療費助成条例」
 - 「苫小牧市児童館条例」
 - 「苫小牧市地区計画区域内建築物の制限に関する条例」
 - 「苫小牧市火災予防条例」
- 動産の取得
 - 「航空機騒音常時監視システム」
 - 「モータグレーダ」(主に冬季除雪に使用)
 - 「学習用パソコン及びWi-Fi機器」
 - (市内小中学校に設置)
- 契約の締結
 - 「苫小牧東中学校校舎改築主体工事」
 - 「苫小牧東中学校屋内運動場改築主体工事」

令和元年度 苫小牧市一般会計補正予算 (第3回)

歳入歳出予算の総額に 1億8,465万9千円を追加し、
歳入歳出の総額を 772億8,029万5千円 としました。

主なものは、

白鳥王子アイスアリーナ
改修事業費
→ 394万5千円



整水車 (ザンボニー)

防災備蓄品整備事業費・
防災車両整備事業費
→ 2,405万1千円



災害用蓄電池と照明器具

受動喫煙防止対策事業費
→ 40万円



電子スパイロメータ

※肺の機能を検査する装置

総務委員会

改選後初の委員会で

活発議論!

越川 慶一 委員長

今回、7項目の審査案件について議論しました。苫小牧駒澤大学では、入学者数の推移や外国人留学生別科などについて。公共交通関連事業では、市内路線バスの事業報告などについて。CAPプログラムパート3では、事業報告及びにぎわい創出に係る事業などについて。苫小牧市都市計画マスタープランの策定では、将来の都市像などについて。旧苫小牧市ハイランドスポーツハウス及び旧サイクリングターミナル無償貸付公募型プロポーザルでは、実施目的や再公募などについて。総合窓口における業務の民間委託では、事業者選定結果やスケジュールなどについて。債権管理では、事務処理の現状などについて活発な質疑がおこなわれま



都市計画マスタープラン

厚生委員会

PCB機器調査で

121台発見!

宇多 春美 委員長

高濃度PCB(ポリ塩化ビフェニル)使用安定器の点検状況について、市有施設における再点検をおこなった結果、最終的に121台が発見され、現在は旧糸井清掃センター倉庫で保管しているとの説明がありました。これに対して、人体に有害なPCBの対応について質疑があり、今回は入念な点検を実施したことや、保管中の安定器については、令和元年度内に処理をおこなうとの答弁がありました。旧トマモールの石綿除去作業については、作業の安全性や進捗などの質疑があり、工事に遅れがあるもののトラブルはなく、石綿除去作業は11月末までに、建物の解体及び撤去は令和2年3月末までに完了予定との答弁がありました。



PCB使用安定器の保管

文教経済委員会

中央図書館の警察からの情報照会の対応基準について質疑

大西 厚子 委員長

所管事項の「中央図書館に係る警察からの照会に対する対応について」では、警察から図書館利用者に関して、刑事訴訟法に基づく捜査関係事項照会書による照会があった場合の対応について説明がありました。委員からは、基準を策定した経緯や目的・内容について、防犯カメラの取り扱いについてなどの質問がありました。市教委からは、本のタイトルや防犯カメラの映像などは任意の依頼では提供しないこと、対応は市教委が直接おこなうとの答弁がありました。ほかに「公益財団法人道央産業振興財団の事業について」「苫小牧市公設地方卸売市場経営展望について」「第2学校給食共同調理場改築事業について」の所管事項の質疑がおこなわれました。



苫小牧市中央図書館

建設委員会

胆振東部地震による厚真山林被災状況の報告を受け議論!

谷川 芳一 委員長

平成30年9月の胆振東部地震による市所有の厚真山林の被災状況が報告されました。地震による地滑りにより、山の尾根が塊のまま全長約500メートル移動し、復旧には1億7000万円以上の費用がかかる見込みです。委員からは「今後の山林のあり方について厚真町への譲渡や売却などを検討しては」との意見が出されました。市側は今後、胆振東部森林再生・林業復旧連絡会議や専門家の意見を踏まえて検討するとの答弁がありました。

使用済み水道メーター分解業務の実施状況については、処分するメーターの分解・分別作業を障がい者就労施設などへ委託する事業がスタートしたことが報告されました。



厚真山林

総合開発特別委員会

米軍再編訓練移転など

多岐にわたり議論!

竹田 秀泰 委員長

所管事項は、千歳空港関連・苫小牧西東港・苫東関連など多岐に渡っています。米軍再編に伴う訓練移転では航空機部品落下事故2件などについて報告。また工業団地内企業立地動向では18年度14社の新規企業が立地。(株)苫東の経営概況では現在操業中の立地企業が118社で、未操業の企業が27社であることが報告されました。

その他、国際リゾート構想については、キャンセル依存症や環境問題・インフラ問題など、多くの市民が問題点と考えており、苫小牧市の将来像を考える重要な事項として、委員の活発な議論を踏まえ、その方向性を考えていきたいと思います。



活発な議論を展開する委員会

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

岡山県総社市と

応援協定締結へ!

松尾 省勝 委員長

所管事項は、災害時の応援に関する協定、車両貸し出し及び給電などに関する協定の締結について、防災訓練について、防災行政無線デジタル化方式について、(仮称)市民ホールの整備手法検討と進め方の4件の報告がありました。協定の締結では、18年7月に西日本豪雨の被災地である岡山県総社市が、胆振東部地震の発災に対し、支援物資をいち早くお届けいただいた経過から、同市との応援協定の締結となりました。防災行政無線デジタル化方式では、20年をもってアナログ電波終了となり、更新の際、屋外スピーカーの設置や地元業者を活用した取り組みを進めるべきとの質疑がありました。



災害時応援協定の締結

議会改革検討会

(6月28日開催)

苫小牧市議会はこれまで、市民に開かれた議会を目指し、議会改革の取り組みを進めてきました。19年3月の議会改革検討会において検討項目が申し送りとなっていた内容について、改選後の新たな委員によって、検討すべき項目や、追加する項目も含めて改めて確認されました。

検討項目

議会基本条例

- 全員協議会の位置付け
- 広報広聴の充実
- ・ 記者会見 (6月実施済み)
- ・ 傍聴者アンケート (9月予定)
- ・ 市民との意見交換の手法
- 条例研修 (7月実施済み)
- 議員定数・報酬
- 投票率向上に向けた取り組み
- 議会ICT化の推進
- ・ 実務者会議の設置

その他会派から出された意見

- ・ 議長選挙のあり方
- ・ 特別委員会の映像配信
- ・ 常任委員会の複数所属
- ・ Wi-Fi環境の整備
- ・ タブレット導入
- ・ ペーパーレス
- など



議会基本条例制定後の最初の取り組みとして、議長・副議長による定例記者会見を実施 (6月28日実施)



選挙後開催された議会基本条例研修会 (7月9日実施)



市民に身近な開かれた議会をめざして

pickup ①

ホームページとFacebookで
市議会の情報を発信中!!

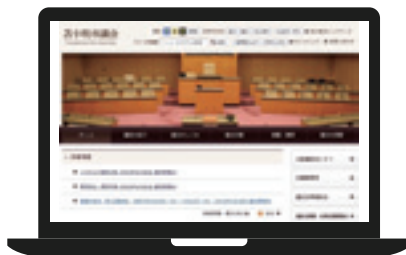
ぜひご覧ください!

苫小牧市議会

検索

苫小牧市議会公式 ホームページ

「議員の紹介」「議会のしくみ」「議会活動」
「請願・陳情」「議会の傍聴」についてのほか、
「会議録の検索」や、「政務活動費の報告」など
についても公開しています。



苫小牧市議会公式 Facebook

定例会などの会議情報、市議会の公式活
動の情報などを中心
に情報発信をおこな
っています。



pickup ②

議会を傍聴しませんか

市議会は公開されており、どなたでもその
様子を見ることができます。

11階の議場傍聴席には車いすを利用さ
れている方のために、3席分のスペース
をご用意しております。

本会議を傍聴された方には、とまチョップポイント
100ポイントがプレゼントされます。

※議会の日程などは下記のお知らせをご参照ください。



傍聴席



車いす用
傍聴席

議会日程のお知らせ

● 第3回 市議会定例会

※1回の傍聴につき
100ポイント。
(本会議に限ります)



月 日	内 容	場 所
9月4日(水)	陳情締切り (17:00まで)	10階
9月5日(木)	本 会 議 (報告・一般質問)	11階
9月6日(金) ~10日(火)	本 会 議 (一般質問・議案等審議)	
9月11日(水)	常 任 委 員 会	9階、10階
9月12日(木)	特 別 委 員 会	9階、10階
9月13日(金)	議会改革検討会	9 階
	本 会 議 (議案等審議)	11階

※9月5日から12日の開始時間は10時(予定)からになります。
(ただし9月13日は未定です)

※日程などについては変更になる場合があります。(土、日、祝日は休会)
詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

「とまこまい市議会だより」は、議員により制作される広報紙です。これを年4回発行するため、完全素人の議員が編集委員となって毎号悪戦苦闘しています。「ひとりでも多くの市民に、議会に興味をもってもらいたい!」そう願う編集委員の流した汗と涙が報われることを切に願いながら、これから2年間しっかり頑張ってまいります。よろしくお願いたします!

とまこまい市議会だより
編集委員長 板谷 良久

とまこまい市議会だより編集委員会

板谷 良久・山谷 芳則・大西 厚子・大野 正和・橋本 智子
越川 慶一・原 啓司・桜井 忠・触沢 高秀